

製品名: GSTA1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11827**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	GSTA1
別名	Glutathione S-transferase A1 (EC 2.5.1.18;GST HA subunit 1;GST class-alpha member 1;GST-epsilon;GSTA1-1;GTH1)
遺伝子 ID	2938.0
SwissProt ID	P08263
免疫原	抗血清はヒト GSTA1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

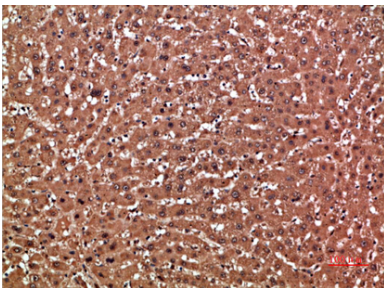
背景

この遺伝子は、発がん物質、治療薬、環境毒素、酸化ストレス産物などの標的求電子化合物にグルタチオンを付加する酵素ファミリーのメンバーをコードしています。この作用は、これらの化合物の解毒において重要なステップです。この酵素サブファミリーは、活性酸素種および過酸化生成物から細胞を保護するという特別な役割を担っています。この遺伝子の多型は、個体における様々な薬物の代謝能力に影響を与えます。この遺伝子は、6番染色体上の類似遺伝子および偽遺伝子のクラスターに位置しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2016年1月],触媒活性: $RX + \text{グルタチオン} = HX + R-S\text{-グルタチオン}$ 。 ,ドメイン: C末端ドメインは疎水性基質結合部位の構成要素となる可能性があるが、対照的に GSH 結合には直接関与しておらず、触媒活性に必須ではない。 ,機能: 還元型グルタチオンを、様々な外因性および内因性の疎水性求電子剤と結合させる。 ,類似性: GST スーパーファミリーに属する。 ,類似性: GST スーパーファミリー (α ファミリー) に属する。 ,類似性: 1つの GST C末端ドメインを含む。 ,類似性: 1つの GST N末端ドメインを含む。 ,サブユニット: GSTA1 と GSTA2 のホモ二量体またはヘテロ二量体。 ,組織特異性: 肝臓。 ,

研究分野

グルタチオン代謝;シトクロム P450 による異物代謝;薬物代謝;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された